

**リハビリテーションを行われた患者さんの  
上腕筋周径、下腿周径、皮下脂肪厚、握力に関する研究**

**1. 研究の対象**

2018年10月1日～2019年10月31日まで当院でリハビリテーションを受けられた方

**2. 研究目的・方法**

目的：病気のため入院された患者さんは、病気のため、さらに治療のための安静により生活機能が低下します。主には筋肉が少なくなり力が弱くなるためです。また栄養状態も悪くなり皮下脂肪も少なくなります。生活機能を改善するためにリハビリテーションを行うわけですが、患者さんの筋肉の量や、皮下脂肪の量がリハの進行に関係することが予想できます。これまでの研究で下腿の周囲径が関係していることが分かりました。今回は上腕筋周径、下腿周径、脂肪厚に加えて握力が関係するか調べます。

試験の種類：観察研究

試験の対象となる方：防衛医科大学校病院入院中にリハビリテーションを行った方

方法：カルテに記録された握力および上腕の筋周径と上腕での皮下脂肪の厚さ、下腿の周径を、自宅に退院された方と自宅に退院できず転院された方でそれぞれ集計し比較します。治療に関する介入はなく、人体試料も採取しません。個人が同定される情報も収集いたしません。

**3. 研究に用いる試料・情報の種類**

カルテの記録から前記、「方法」で示したデータを使用します。

**4. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所 埼玉県所沢市並木 3-2

TEL 04-2995-1511 (代表)

研究責任者 リハビリテーション部 小林龍生